洞爺湖サミットの危機管理

―消防特別警戒から見えたもの ―

(財)全国危険物安全協会　理事
元　東京消防庁　警防部長
佐　藤　康　雄

本日お話すること

1　洞爺湖サミットを振り返る

―　認識共有　　（その意義と役割）　―

2　洞爺湖サミットの危機管理

―　テロの時代のイベント開催に向けて　―

3　消防特別警戒から見えたもの

―裏方（予防警戒）を担当して―

1　洞爺湖サミットを振り返る　　―認識共有（その意義と役割）―

サミット意義

1975　フランス　ランブイエ城　先進6か国政策協調

⇩ 石油危機に伴うスタグフレーションを克服

1979　日本①　東　京　日本が初めての議長国

⇩ 第二次石油危機を背景とした「東京宣言」採択

1986　日本②　東　京　日本経済の国際競争力大

⇩ 貿易の自由化と多角化　テロ・エイズ・環境

1993　日本③　東　京　世界成長戦略

⇩ 経済回復と雇用創出の為の国連強化

2000　日本④　九州・沖縄　感染症対策強化

⇩ エイズ・結核・マラリア対策

2008　日本⑤　北海道洞爺湖　地球環境問題

⇩ 気候変動枠組条約(cop21)へと繋がる成果

2016　日本⑥　伊勢志摩　世界経済の成長とリスク対処

4回以降は地方で開催

日本の美しい自然、文化、伝統を世界のリーダーが肌で感じ味わえる場所

意義　主要議題と共に、日本(開催地)の良さを、世界のリーダーにアピール

1　洞爺湖サミットを振り返る　―認識共有（その意義と役割）―

2008　日本⑤　北海道洞爺湖サミット

安心・安全＝基盤

[開催前]

高橋はるみ北海道知事

4つのキーワード

開催支援	万全の体制でサミットを支える
北海道発信	北海道の魅力を世界に伝える
おもてなし	開かれた心と気配りでお迎え
未来	環境と交流を次世代に引継ぐ

[開催後]

サミットの開催を通じ
豊かな自然環境をはじめ、食や観光、文化などの
北海道の魅力や価値を世界に向けて発信し、
「北海道」の知名度を大いに高めることができた。

[サミットにおける]

主催自治体の役割

2　洞爺湖サミットの危機管理　―テロの時代のイベント開催に向けて―

万全の体制でサミットを支える

・・・安全・安心の確保

最大の脅威は?　➡　**テ　ロ**

テロの脅威　(外務省ホームページ)

2013年:アルジェリア「邦人拘束事件」
2015年:シリア「邦人殺害テロ事件」
:チュニジア「襲撃事件」

➡　我が国がテロの脅威と無縁ではない

「テロの時代」

① 暴力的過激化:
若者や疎外感を感じている者が，過激思想の影響を受け，テロ

② ホームグロウン・テロリスト:
先進国の国民が自国民を対象に行うテロ(ボストンマラソン)

③ ローン・ウルフ:
特段のテロ集団に属していない個人が大規模なテロ攻撃を行う

➡　新たな形式のテロ　ボーダレスなテロ

＋　国際テロ組織「アル・カイーダ」、「IS」、「不法な武器・麻薬・誘拐」

2　洞爺湖サミットの危機管理　―テロの時代のイベント開催に向けて―

2008　日本⑤　北海道洞爺湖サミット　主要議題

3Sに立脚した原子力エネルギー基盤整備に関する国際イニシアティブ

G8で初めて、我が国が提案

3 S
- Safe guards(核不拡散)
- Safety(原子力安全)
- Security(テロ対策)

東京工業大学
「産官学人材育成カリキュラム協議員」

この対処が一番難しい

安全・安心　の確保 ➡ 情報共有　が基本
セキュリティ の確保 ➡ 情報秘匿　が基本

情報を共有できない中でどうやってテロ対策を講じるか

洞爺湖サミットの危機管理の体験談からお話しする

3　消防特別警戒から見えたもの　―裏方(予防警戒)を担当して―

洞爺湖サミットの危機管理体制[全体]

国	北海道

準備体制	実施体制	危機対応体制

- 内閣官房 ― 洞爺湖ロジ本部
- 外務省 ― サミット推進局
- 警察庁 ― 総合警備本部
- 消防庁 ― 防災消防課 / 統括警戒本部
- 厚生労働省 ― 医療政策課 / 現地医療本部
- 防衛省 ― 陸自北部方面総監部

危機管理連絡会議
(庁内組織)

道危機対策局

危機管理に関する
関係機関
連絡会議

化学テロ災害時における
関係機関の連携の在り方

外務省が主導、複数の機関が連携してテロ対策
消防は、その一部を担当

3　消防特別警戒から見えたもの　―裏方(予防警戒)を担当して―

消防特別警戒[消防限定]

H19.10.11 ―― H20.3.11 → サミット開催警備 H20.7.5-7.11

委員会、予防・警防部会　各2回開催

消防車両74台、ヘリコプター3機
消防隊員796名で警戒

北海道洞爺湖サミット
消防救急対策委員会

- 警防部会・・発生時の消防活動
- 予防部会・・災害等の未然防止
  [予防部会副座長]

危機管理

- Crisis　Management　危機が起きた時に対処（良くできても±0）
- Risk　Management　危機が起きる前に対処（良くできれば+α）

消防の特別警戒は、CrisisとRiskの両面で危機管理

3　消防特別警戒から見えたもの　―裏方(予防警戒)を担当して―

万全の体制でサミットを支える

↓

化学テロ災害時における関係機関の連携の在り方

危機管理に関する関係機関連絡会議

↓

① 重大なセキュリティに関する検討

・V8というが、警戒する消防にも　その詳細は全く知らされなかった

・警戒対象の実態を把握できない中で警戒準備

② 化学テロを主体とした検討

➡ ・2001.9.11　アメリカ同時多発テロは、航空機によるテロだった。

・航空機テロその他、テロを総合的に分析できる組織・体制が無かった

3　消防特別警戒から見えたもの　―裏方(予防警戒)を担当して―

外務省

⬇

航空機テロ災害のシミュレーションをできる組織を模索

⬇

東京消防庁に依頼

「優良防火対象物」の判定の為に、東京理科大に避難シミュレーションの開発を委託し、H18.3に完成していた。

⬇

火災避難シミュレーションの実施　(ザ・ウィンザーホテル洞爺)

Case①　地下1階(サミット会場階)　7月7日PM　階収容人員310人

Case②　3階(客室階)　夜間以外の最大人数　7月8日AM　〃　185人

Case③　9階(客室階)　夜間での最大人数　7月7日夜間　〃　90人

2週間で航空機テロ災害をシミュレートし報告

3　消防特別警戒から見えたもの　―裏方(予防警戒)を担当して―

シミュレーション結果の一例

1　地下一階以外で火災が発生し、出火と同時に一斉避難すると**避難完了まで1分23秒**を要する。
2　厨房火災の時は、出火から**6分50秒以内に避難**しなければ、煙等に暴露してしまう。
3　厨房火災の発生では、シミュレーションの上では避難できることになっているが、**余裕時間は3分**しかない。
4　ホワイエで爆発火災が発生すると、ホワイエ出口を使えないので、全避難口を使用した場合の**2倍の避難時間**がかかる。

⇩

①　航空機テロの状況を詳細・かつ具体的に把握できた
②　シミュレーションをする為、**具体的な要人の状況を把握できた**

警護する要人は、V8の8人ではなくて、49人であることが判明

Security　と　情報共有　の難しさ

3　消防特別警戒から見えたものは?　―裏方(予防警戒)を担当して―

SecurityClearance ・・・機密情報にアクセスするための資格

アメリカの軍関・政府関係・・・3段階の　Security　Clearance

- Confidential :一番簡単なアクセス権　15年ごとに審査
- Secret :安全保障に深刻なダメージを与える可能性のある情報のアクセス権　10年ごとに審査
- Top Secret :安全保障に多大なダメージを与える可能性のある情報のアクセス権　5年ごとに審査

※　サミット会場は、「レッドエリア」と「ブルーエリア」に色分けされ、消防警戒中でも、「レッドエリア」に入るとSPに銃で撃たれることがあると注意を受けた。

Securityに対する意識の差　を認識して対応する

3　消防特別警戒から見えたものは?　―裏方(予防警戒)を担当して―

警戒員の活動状況

① 警防警戒・・・救急出動5件、警戒出動1件(26隊、103人)　計6件
要人のヘリによる救急搬送もあり

② 予防警戒・・・自動火災報知設備作動9件、防火戸開閉9件
その他(漏水、エレベーター閉込等)21件　計39件
会議室に隣接するガスコンロのスイッチ開放もあり

ま　と　め

① 「安全・安心」は、情報の共有が大切であるが、テロ対応には
「セキュリティ」に対する配意をしつつ、いかに情報共有を図るか。

② 警防態勢は派手で良く見えるが、テロ対応には
地味な事前の備えと、目に見えない裏側の態勢をどう整えるか。

ご静聴ありがとうございました